

美浜発電所敷地内破砕帯に関する 追加調査の工程見直し

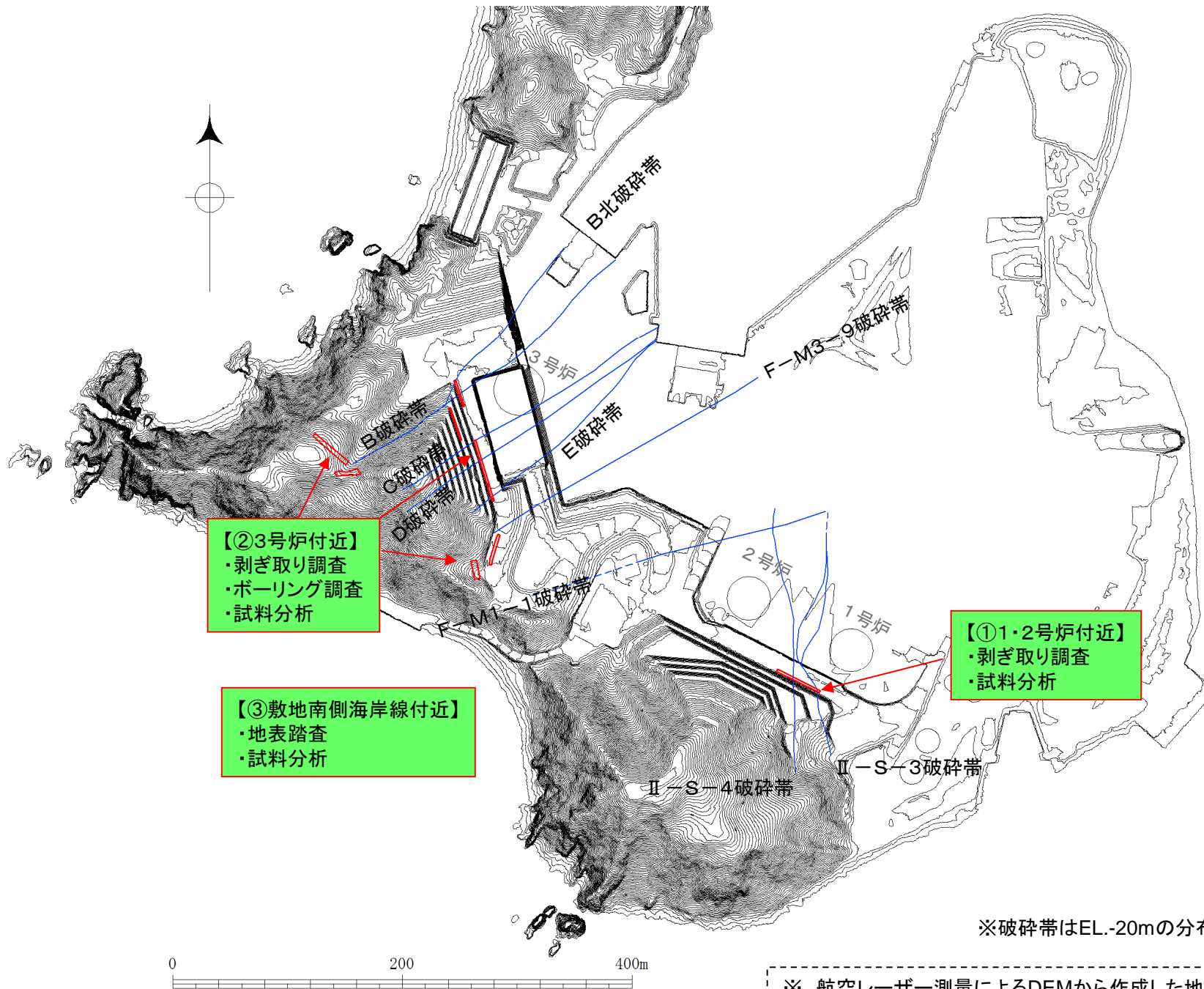
平成25年3月28日
関西電力株式会社

最終報告時期の延期について

現在、美浜発電所敷地内において、破碎帯の性状を直接確認するため、剥ぎ取り調査を実施しているが、破碎帯のずれの方向を確認するための試料分析、および、過去の調査(平成18年の耐震バックチェック)において確認していた破碎帯と、今回の調査で確認した破碎帯の関連性について、より詳細に確認するための調査(ボーリング調査)を追加で実施している。

この調査・分析と結果のとりまとめに時間を要するため、追加調査計画では、平成25年3月末を目途としていた最終報告の時期を、平成25年5月末までに変更する。

美浜発電所敷地内破碎帯に関する追加調査位置図（敷地内）



美浜発電所敷地内破碎帯に関する追加調査位置図（敷地外）

白木一丹生断層との間の堆積層が分布している低地、湾内で地下構造の調査を行った。

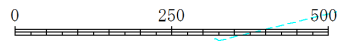
白木一丹生断層

- 反射法地震探査測線 (S波)
- ボーリング
- 海上音波探査測線(今回) (ブーマーマルチ)
- - - 海底地形調査範囲
- - - 海上音波探査測線(既往)

【④敷地外(陸域)】
 ・反射法地震探査
 ・ボーリング調査
 ・地表踏査

- 変動地形・リニアメントの凡例
- Cランク
 - Dランク
- 短線は低い側を示す。矢印は尾根、谷の屈曲方向を示す。
 短線がないリニアメントは両側で高度の不連続が認められないもの。

※ 航空レーザー測量によるDEMから作成した地形図を使用



【⑤敷地外(海域)】
 ・海上音波探査
 ・海底地形調査

美浜発電所敷地内破砕帯に関する追加調査概要

ポイント	調査計画位置	調査項目	調査内容
(1)敷地内の複数の破砕帯の性状(活動年代等)を直接確認するための適切な場所を選定の上、当該箇所における必要な調査(破砕帯内物質の年代測定や上載地層の変位・変形の有無等)	①1・2号炉付近	剥ぎ取り調査 試料分析	・破砕帯の直接確認。 ・破砕帯内物質の分析等。
	②3号炉付近	剥ぎ取り調査 ボーリング調査 試料分析	・破砕帯の直接確認。 ・破砕帯内物質の分析等。
	③敷地南側海岸線付近	地表踏査 試料分析	・破砕帯の直接確認。 ・破砕帯内物質の分析等。
(2)敷地内の複数の破砕帯と周辺の活断層(白木一丹生断層)との地質構造上の関連性を明らかにするための調査	④敷地外(陸域)	反射法地震探査 ボーリング調査 地表踏査	・敷地内破砕帯と白木一丹生断層との関連性について検討。 ・ボーリングによる基盤高度等の確認
	⑤敷地外(海域)	海上音波探査 海底地形調査	・敷地内破砕帯と白木一丹生断層との関連性について検討。
	⑥敷地周辺	航空レーザー測量	・航空レーザー測量によりDEMを作成し、変動地形の有無を再検討するとともに、敷地内破砕帯と白木一丹生断層との関連性について検討。

※調査位置、調査項目、調査内容は、調査の状況によって変更となる場合がある。

美浜発電所敷地内破碎帯に関する追加調査工程

調査計画位置	調査項目	平成24年				平成25年				
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
		計画承認 ▼					中間報告 ▼			最終報告 ▼
準備(許認可含む)	自然公園法、工場立地法、森林法	準備	自然公園法他			自然公園法	自然公園法			
①1・2号炉付近	剥ぎ取り調査 試料分析				調査・分析					
②3号炉付近	剥ぎ取り調査 ボーリング調査 試料分析				調査・分析					
③敷地南側海岸線付近	地表踏査 試料分析				調査・分析					
④敷地外(陸域)	反射法地震探査		調査		解析					
	ボーリング調査 地表踏査			調査		調査				
⑤敷地外(海域)	海上音波探査 海底地形調査	調査			解析					
⑥敷地周辺	航空レーザー測量			調査	解析					
総合評価										

準備
 調査
 解析
 ※調査位置、調査項目、工程は、調査の状況によって変更となる場合がある。更なる工程短縮について検討していく。

(凡例)	
計画	実績